

冬のDigi田甲子園

デジタル田園都市国家構想を全国津々浦々で力強く進めていくため、構想実現に向けた機運醸成を図る観点から、幅広く民間企業や団体など様々な主体の取組を募集します。

対象

企業や団体その他の民間の主体の取組の中で、デジタルの活用により、地域の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっているもの。

《具体的な分野のイメージ》

医療、介護、健康 ……【例】遠隔診療、介護ロボット、データヘルス

教育、子育て ……【例】遠隔教育、デジタルを活用した教材、母子保健、子供の見守り

交通、物流 ……【例】自動運転・デマンド交通、ドローン物流、MaaS

企業の生産性向上 ……【例】中小・中堅企業DX、就労環境の改善、スタートアップの支援

農林水産業、食関連 ……【例】農業機械の遠隔操作、漁業DX、デジタルを活用した食品開発

観光、文化、娯楽 ……【例】観光アプリ、デジタルアート製作、文化の情報発信

防災、安心・安全の確保 ……【例】罹災時の状況把握、平時のコミュニティ形成・見守りサービス

グリーン社会の形成 ……【例】脱炭素につながる取組

誰一人取り残されない社会 ……【例】高齢者・障がい者等のデジタルデバイド対策

応募期間

10月28日（金）～12月20日（火）

応募フォーマットは、
Digi田甲子園ホーム
ページからダウンロード
できます。



選考方法

有識者による審査及び国民によるインターネット投票により、表彰対象を決定します。

表彰

内閣総理大臣賞ほか

デジタル田園都市国家構想とは…

デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方の社会課題の解決、魅力向上のブレイクスルーを実現し、地方活性化を加速させ、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すものです。

【問い合わせ】

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 Digi田甲子園担当
(代表) 03-5253-2111 (内線37147)

デジデン

●夏のDigi田甲子園

地方公共団体を対象として、デジタル技術の活用により、地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取組を内閣総理大臣が表彰しました。

●国民によるインターネット投票を実施 投票総数：24,216票

●投票結果を基本とし審査会の議論を経て、各部門の表彰対象を決定

表彰団体 優勝（内閣総理大臣賞）

実装部門	①指定都市・中核市・施行時特例市	福岡県北九州市	『北九州市DX推進プラットフォーム創設、北九州市ロボット・DX推進センター開所等による市内中小企業のDX支援の加速化』	 北九州市 KitaQ DX 北九州市 中小企業のDX支援加速化
	②市 ※①を除く	山形県酒田市	『飛島スマートアイランドプロジェクト』	 飛島スマートアイランドプロジェクト TOBISHIMA SMART ISLAND PROJECT ※総工事費約80億円。商店もない、通世帯率も低い日本海の離島でeビリティを使った商品配送サービスができるまで
	③町・村	群馬県嬬恋村	『観光・関係人口増加のための嬬恋スマートシティ』	 群馬県嬬恋村 スマートシティ始めました。 スマートフォンで地図や情報を確認することができる
	④アイデア部門	群馬県前橋市	『めぶくEYE：視覚障がい者歩行サポートシステム』	 めぶくEYE 視覚障がい者歩行サポートシステム めぶくEYEは、スマートフォンのスマートナビゲーション機能に連携し、歩行の妨げとなる障害物を検知。



増田委員長の講評動画はコチラ

増田審査委員長が夏のDigi田甲子園の優勝・準優勝の取組について、評価ポイントを解説します。

